令和５年（２０２３年）３月１０日

（令和５年（２０２３年）３月１３日変更）

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況や保健医療の状況等を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは**レベル１**とします。

１　リスクレベル判定に関する指標等

指標	前週（令和５年３月１日）	今週（令和５年３月８日）
最大確保病床使用率	17.0%	15.7%
最大確保重症病床使用率	6.1%	1.5%

最大確保病床使用率は先週と比較し、概ね横ばい。コロナ病床以外のコロナ入院患者を除いた実質的な最大確保病床使用率も、令和５年３月８日時点で11.3%(前週：12.5%)と概ね横ばい。

	前週（令和５年３月１日）	今週（令和５年３月８日）
新規感染者数	1,203人	979人
感染の傾向	減少傾向にある	減少傾向にある

前週（令和５年３月３日発表）	今週（令和５年３月１０日発表）
レベル１	**レベル１**

２　感染拡大の注意が必要な地域

注意が必要な地域※	なし

※人口10万人当たり週感染者数推定値が500を超え、増加傾向にある地域

３　県民の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少傾向は継続しています。しかし、年度の切り替わりに向けて、移動や会食等の機会も増加すると思われますので、場面に合わせた感染対策の実施及び救急医療の使い方の確認などの感染に備えた準備をお願いします。

陽性となった場合、発生届の対象とならない方（若い方など重症化リスクが高くない方）は、御自身の療養期間を御確認いただくとともに、万一症状が悪化した場合のスムーズな対応のため、熊本県療養支援センターに陽性者登録を行っていただくようお願いします。

３月１３日からマスク着用については、個人の判断が基本となります。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、御配慮をお願いします。

また、希望される方は早めのワクチン接種をお願いします。県においては県民広域接種センター（グランメッセ熊本）を３月２６日まで開設していますので、夜間・休日も含めた検討をお願いします。

熊本県　健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：錦戸、横山、中満、吉岡
電話：０９６－３３３－２２３９
（内線）33142,33161,33107

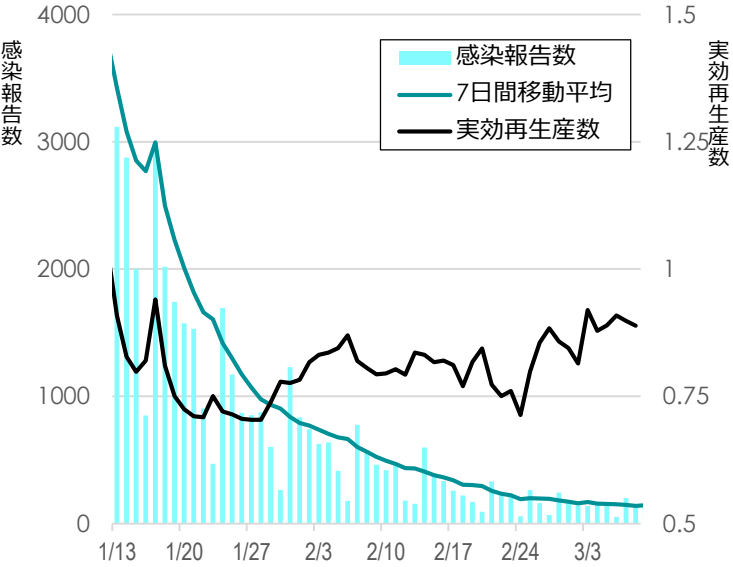
熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和５年（２０２３年）３月１０日】

1　熊本県における現状認識

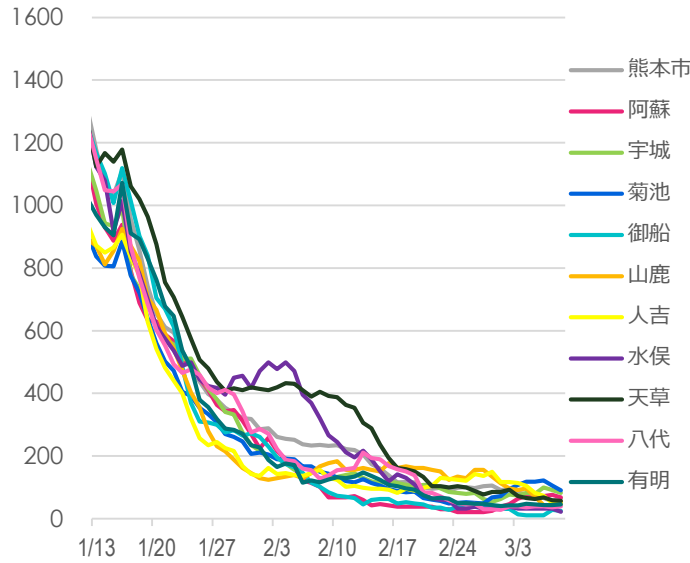
(1) 新規感染者数の状況

本県の感染報告数及び実効再生産数



各医療機関及び熊本県療養支援センターから報告があった事例の合計。
実効再生産数はSerial interval=3.5(標準偏差2.4)の分布を用い、Coriらの方法で推定。

地域ごとの人口10万人当たり週感染者数推定値

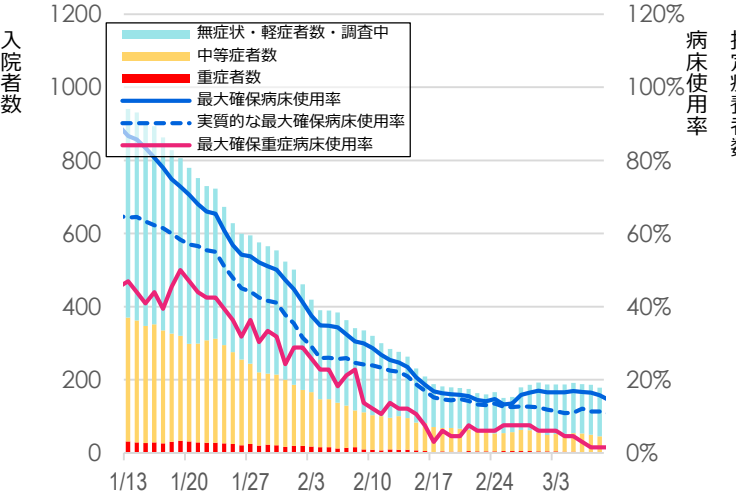


9月26日以降に発生届出のあった事例の居所集計及び各保健所管轄地域の65歳以上の人口に基づく推計値の推移（**7日間移動合計**）。熊本市保健所管内は報告日別、その他の保健所管内は陽性確定日別に集計。各保健所管内の65歳以上人口は、国勢調査(2020年10月1日現在)による。

週の感染報告数は979人であり、概ね全ての地域で減少が継続している。

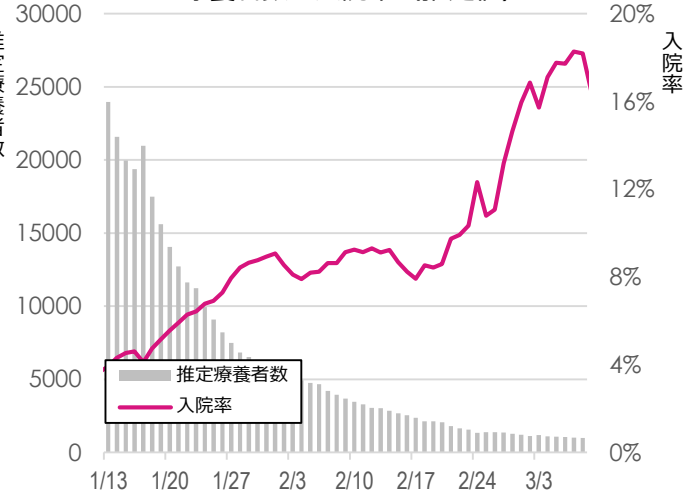
(2) 病床等の状況

入院者の症状別推移



実質最大確保病床使用率は、分子に「各医療機関の最大確保病床数を超えた入院者数」を含まない

療養者数と入院率（推定値）

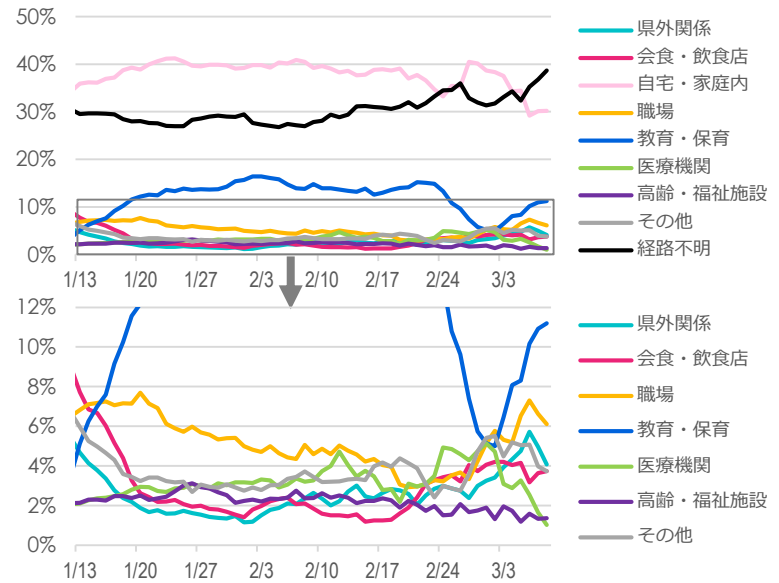


一般的な療養期間である７日間の感染者数を足し合わせ推定。

最大確保病床使用率は、15.7%（先週は17.0%）、実質的な最大確保病床使用率は11.3%であり、概ね横ばいの状況である。

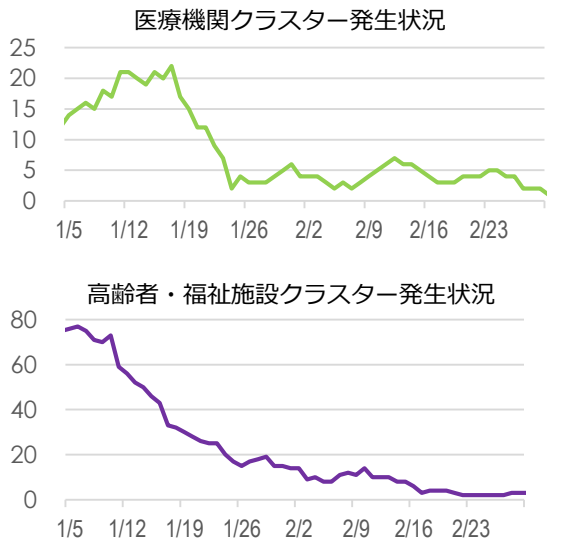
(3) 感染の態様

感染者の感染経路割合推移



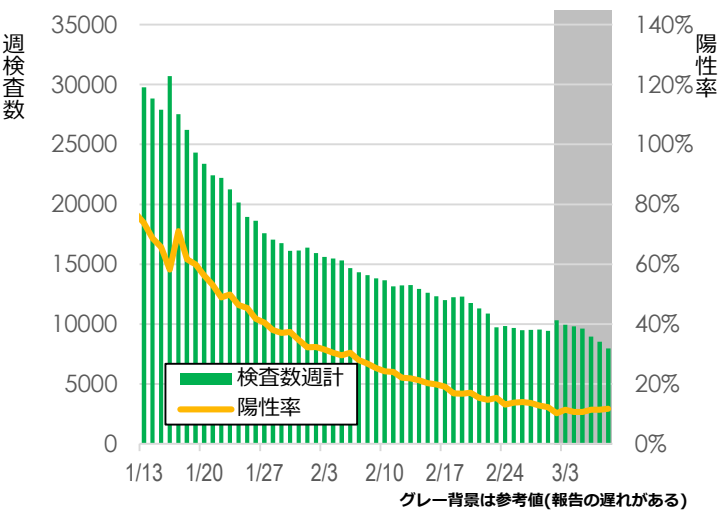
熊本県療養支援センターへの登録時のアンケートから**診断日ごと週集計の割合推移**。
65歳未満のデータであるため、高齢・福祉施設、医療機関の感染状況は過小評価されている
（当該経路は右記クラスター数推移から推定する）。

医療機関及び高齢者施設クラスター発生状況推移



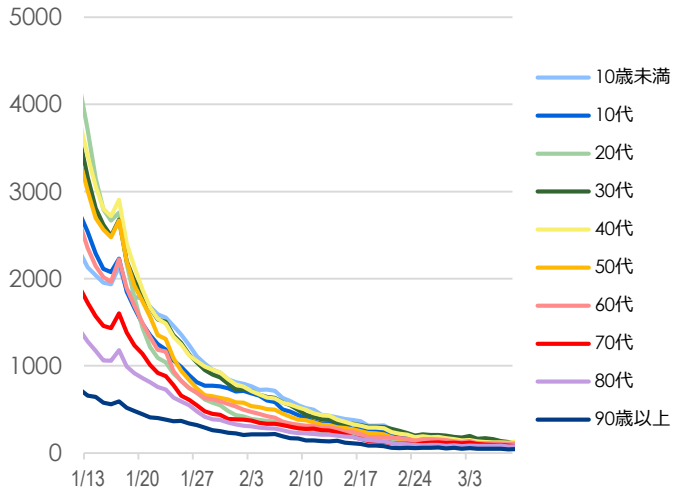
9月26日以降に保健所が認定したクラスターの、**初発患者の確定日の推移（７日間移動合計）**。

週の検査報告数と推定検査陽性率



陽性率は、医療機関と行政の検査で確定した陽性者数を分子、医療機関から報告のあった検査数及び行政の検査数を分母とした比率（セルフチェックは含まない）。報告の遅れ、未報告、みなし陽性の影響で、陽性率は100%を超えることがある。

年齢階級別陽性報告者数推移



各医療機関及び熊本県療養支援センターから報告があった事例の集計（**7日間移動合計**）。

感染の態様からは、感染が減少傾向にあることが示唆される。

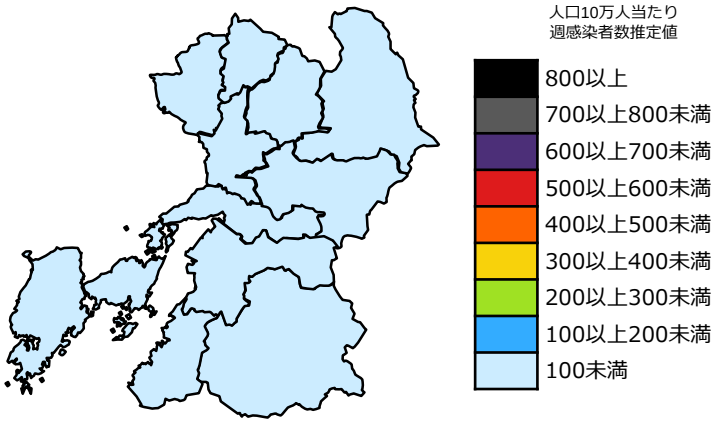
(4) リスクレベル判定

指標	3月8日	レベル１ 感染小康期	レベル２ 感染拡大初期	レベル３ 医療負荷増大期	レベル４ 医療機能不全期
最大確保病床使用率※	15.7%	－	30%	50%	80%
最大確保重症病床使用率	1.5%	－	－	50%	80%

※分子に「各医療機関の最大確保病床数を超えた入院者数」を含まない実質的な最大確保病床使用率は11.3%

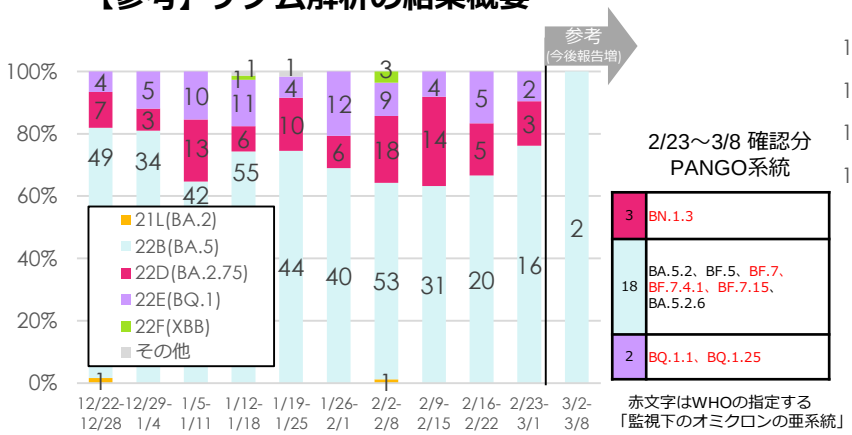
総合的判断で参考とする事象	【感染状況】感染者数や感染の傾向（拡大・縮小）など 【保健医療の負荷の状況】発熱外来のひっ迫や、医療従事者の欠勤状況など 【社会経済活動の状況】職場の欠勤状況や、それによる社会インフラの支障など

（５）注意が必要な地域の概況



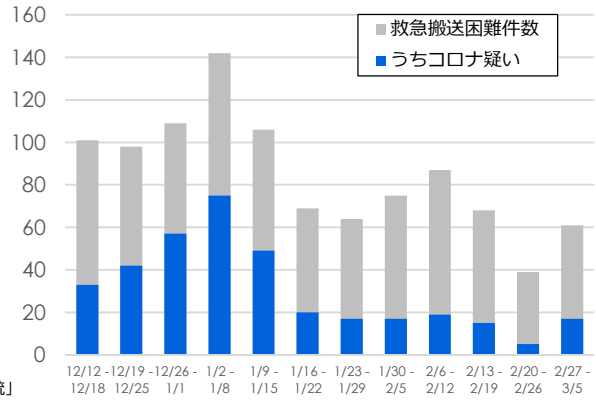
保健所名	3/2～3/8 人口10万人当たり 週感染者数推定値
熊本市保健所	64.9
有明保健所	45.4
山鹿保健所	53.8
菊池保健所	90.6
阿蘇保健所	67.6
御船保健所	24.4
宇城保健所	82.3
八代保健所	38.8
水俣保健所	21.7
人吉保健所	47.6
天草保健所	56.3

【参考】ゲノム解析の結果概要



PANGO系統について、Nextstrain clade別に集計。
結果判明までのタイムラグがあるため、日付が近い値は変動する。

【参考】救急搬送困難件数



熊本市消防局から総務省への報告数。

【参考】医療の状況、感染状況に関するデータ

時点	医療の状況						感染状況		
	推定 療養者数※1	推定 入院率	入院者				検査陽性率※2	感染経路 不明割合※3	新規感染者数 今週／前週比
			重症	中等症	軽症	その他			
3月8日	979人	18.2%	1人	44人	114人	19人	11.7%	38.6%※4	0.8
3月1日	1,203人	16.0%	4人	52人	122人	14人	12.3%	31.4%	0.7
2月22日	1,644人	9.9%	4人	62人	88人	9人	14.7%	31.8%	0.6
2月15日	2,663人	8.7%	7人	76人	139人	9人	20.3%	31.2%	0.7
2月8日	3,948人	8.6%	15人	101人	219人	6人	26.7%	27.0%	0.7
2月1日	5,524人	9.1%	19人	167人	298人	17人	32.2%	29.5%	0.6
1月25日	9,084人	6.9%	24人	251人	336人	17人	45.3%	27.0%	0.5
1月18日	17,485人	4.7%	30人	296人	480人	22人	61.6%	28.4%	0.6
1月11日	29,583人	3.4%	28人	355人	604人	18人	84.8%	31.0%	1.9

グレー背景は参考値。

※1 一般的な療養期間である７日間の感染者数を足し合わせ推定。
※2 医療機関及び行政の検査で確認された陽性者数／医療機関から報告のあった検査件数及び行政の検査数の比。報告の遅れがあることに注意。
※3 熊本県療養支援センターへの登録時のアンケートに回答のあった事例から推定。
※4 3/2～3/8に診断され、熊本県療養支援センターに登録及び回答のあった295事例からの推定。

県民の皆様へのお願い（令和５年３月１３日発表）

熊本県リスクレベルは、**レベル１**です。

©2010 熊本県 くまモン

1　基本的な感染防止対策の徹底

① こまめな換気、手洗い・手指消毒
② 発熱時は仕事等を休み、かかりつけ医等に電話相談！（セルフチェックも可）

・換気、手洗い、人と人との距離の確保等を徹底してください。
・都道府県をまたぐ移動は、「３つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。
・旅行は感染対策を徹底し、わずかでも体調に異変があれば控えてください。

マスク着用について

・マスクの着脱は、下記を参考に、個人の主体的な判断をお願いします。
本人の意思に反して着脱を強いることがないよう御配慮をお願いします。

【周囲の方に、感染を広げないために】
- 有症状の方、検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方は、外出を控えてください。
　→通院等やむを得ず外出するときは、人混みは避け、マスクを着用しましょう。
- 受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問するときは、マスクを着用を推奨します。
- 通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車するときは、マスク着用を推奨します。

【御自身を感染から守るために】
重症化リスクの高い方が、感染拡大時に混雑した場所に行くときは、マスク着用が効果的です。

2　ワクチン接種

ワクチン関係情報

・オミクロン株対応２価ワクチンは、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る効果（重症化予防、感染予防、発症予防効果）が期待されています。
・ワクチン接種により、感染したとしても重症化しにくく、周囲にも感染を広げにくくなると考えられ、御自身の健康はもとより、みなさんの周りにいる家族や友人など、大切な人を守ることにつながります。
・**ワクチン接種を希望する方は、早めの接種をお願いします。**

3　医療機関の適正受診など

【適正受診】
コロナに関わらず、**緊急を要さない**と思われる場合は、平日の昼間の診療時間内に受診をするなどの御協力をお願いします。

【薬・食料品・検査キットの準備】
重症化リスクの低い方や軽症の方は、緊急受診しなくても良いよう準備を。
検査キットは、国から承認されたものを御準備ください。

【夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合】
下記への電話相談をお願いします。

子ども医療電話相談事業	＃８０００	平　日　：午後7時から翌朝8時まで 土曜日　：午後3時から翌朝8時まで 日・祝日：午前8時から翌朝8時まで
夜間安心医療電話相談事業	＃７４００	毎　日　：午後7時から翌朝8時まで

4　検査受検

発熱などの症状がある方

コロナに限らず、感染症に罹患している可能性がありますので、まずは仕事等を休み、周囲の人に感染させない対策を徹底してください。

【症状が軽いことなどを理由に、医療機関の受診を希望しない方】

・国から承認された一般用抗原検査キットによるセルフチェックが可能です。
陽性の場合は熊本県療養支援センターに陽性者登録を行ってください。
陰性の場合も、症状が軽快するまでは十分注意してください。
(症状が続く場合や悪化した場合などは、医療機関を受診しましょう。)

【医療機関の受診を希望する方】

・かかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合

キット陽性の方

症状はないが、感染に不安を感じる方

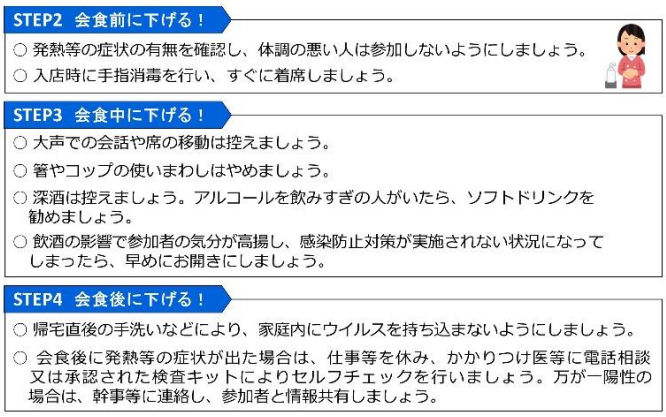
県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

無料検査について

5　会食時は特に注意しましょう

・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、「会食時の感染リスクを下げる４つのステップ」を遵守して実施してください。
・感染対策を徹底し、対策がおろそかになるような深酒は控えてください。
・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。

４つのステップ



6　飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

・県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。

【認証制度】

・感染防止のため「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」を御活用ください

チェックリスト

認証制度

7　イベント開催

・県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率上限】の両方を満たしてください。
・感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の２週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください。
・感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後１年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他（感染防止安全計画を策定しない）
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率上限	100%	100%

イベントの開催制限について

詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

8　その他

事業者	・業種別ガイドラインの遵守 ・職場における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得、テレワークの推進等）の徹底 ・三つの密を発生させない取組みへの協力 ・従業員に対し、療養・待機期間解除後の念のための検査を促すことは控えて
保育所等	・保育所等における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行等）の徹底 ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼 ・希望する場合は保育士等に対する集中的検査の実施 ・市町村の代替保育の実施を支援
学校	・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底 ・３月３１日までは従来どおりマスク着用を求める ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼 ・小学校で希望する場合は教職員に対する集中的検査の実施
高齢者施設等	・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築 ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施 ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施
その他	・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に、早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがいつでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などを絶対に行うことがないようお願いします。

また、マスクの着脱については、本人の意思に反して着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、御配慮をお願いします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、先週に引き続き、新規感染者数は減少しております。
この減少傾向を継続しつつ、高齢者など重症化リスクが高い方を守るためにも、引き続きこまめな換気や感染防止対策の徹底等、一人一人のご協力が必要です。

【対策】

✓ワクチン接種の着実な実施
✓保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
✓保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
✓熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
✓さらなる病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

✓**基本的な感染防止対策を徹底**してください。(こまめな換気・手洗い・うがい・手指消毒)
※…マスク着用の考え方については、資料4ページをご参照ください。
✓高齢者や基礎疾患のある方及びその同居家族の感染防止対策を徹底してください。
✓希望される方は**積極的なワクチン接種**（新型コロナワクチン・インフルエンザワクチン）をお願いいたします。
✓ご自身やご家族が感染した場合に備え、**新型コロナ抗原定性検査キット、解熱鎮痛剤、日用品や食料品などを事前に備えていただく**ようお願いいたします。
✓症状は無いが、感染に不安を感じる方（熊本県民に限る）については、熊本県が実施している**無料PCR等検査を受検**していただくようお願いいたします。
✓会食時は県が示している**「会食時の感染リスクを下げる４つのステップ」を遵守**してください。
✓**「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」を活用**してください。
✓コロナに関わらず、緊急を要さない場合は、出来る限り平日の昼間の診療時間内で受診いただくなど、**医療機関の適正な受診**にご協力をお願いいたします。
✓夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合は、相談窓口（＃8000、＃7400）へご相談ください。
✓職場において、業種別ガイドライン等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。また、テレワークや時差出勤等に協力してください。

本ページの内容の問い合わせ先

熊本市 新型コロナウイルス感染症対策課
問合せ先：岡島・田上・田口・富永
電話：096-364-3311

熊本県作成

会食時の感染リスクを下げる４つのステップ

令和2年12月3日制定
令和5年3月13日改定

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、
新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場面に該当しますが、
様々な工夫と一人一人の心がけで、感染リスクを下げることは可能です。

感染リスクを下げる４つのステップをみんなで実践しましょう！

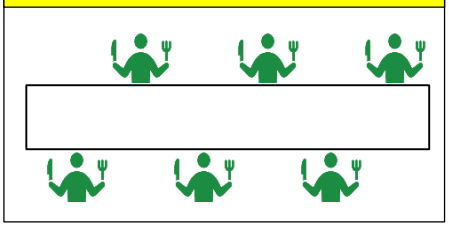
STEP1　予約時に下げる！

○ お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店か確認しましょう。
　➢ 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。

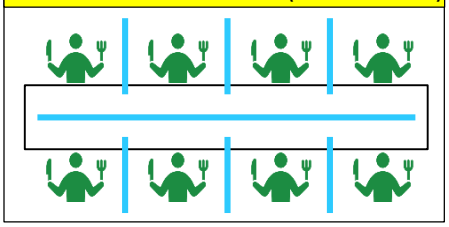
○ 参加者は、なるべく少人数にしましょう。

○ 下記のような席の配置は感染リスクの低減に有効ですので、
お店と相談しましょう。

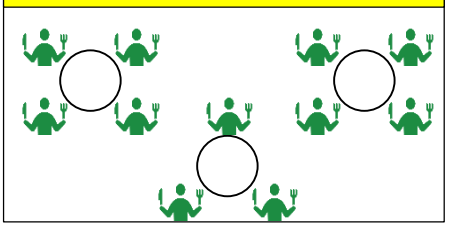
席の配置を斜め向かいにする



アクリル板を設置する(換気に注意)



テーブルを少人数で使用する



STEP2　会食前に下げる！

○ 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。

○ 入店時に手指消毒を行い、すぐに着席しましょう。

STEP3　会食中に下げる！

○ 大声での会話や席の移動は控えましょう。

○ 箸やコップの使いまわしはやめましょう。

○ 深酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。

○ 飲酒の影響で参加者の気分が高揚し、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きにしましょう。

STEP4　会食後に下げる！

○ 帰宅直後の手洗いなどにより、家庭内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。

○ 会食後に発熱等の症状が出た場合は、仕事等を休み、かかりつけ医等に電話相談又は承認された検査キットによりセルフチェックを行いましょう。万が一陽性の場合は、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。